



ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

2012.2.16

省エネ一斉行動週間 2月16日より始まる

地域ぐるみ環境 ISO 研究会の呼びかけで、飯田下伊那地域で取り組む「省エネ一斉行動週間」が2月16日(木)よりスタートしました。

今回は、夏の省エネ一斉行動に引き続き冬にも行うもので、京都議定書発効の日(2月16日)を記念して、16日(木)~22日(水)までの1週間実施します。

WARM BIZ

ウォームビズ

中部電力によると、例年に比べ、昨年夏に需給対策を実施して火力発電所の定期点検を繰り延べたことなどにより、今年の冬は、火力発電所において運転できる発電機が減少しているようです。また、電力の需給状況は、夏とは違い、冬は1日の中で需要の大きい時間帯が長くなる特徴があるようです。そのような状況から、この冬においても節電が求められています。

中部電力管内の毎日の電力需給状況については以下のページをご覧ください。

<http://denki-yoho.chuden.jp/>

でん飯
くで田
だー下
さ緒伊
さいに那
ね節の
!電事
に業
取りの
組皆
んさ

「南信州いいむす21」 登録証交付式行われる

1月25日に、「南信州いいむす21」の新規・更新の登録証交付式が行われました。今回は、原鉄㈱が新規登録、松島産業㈱第二工場、飯田クリーン(有)の2社が継続更新されました。



原鉄㈱は、建設機械・資材の販売・レンタル・修理や、浄化槽の設計・施工・維持管理など幅広い分野で事業活動を展開し、そのすべての業務において「自然との共生」を目指して地球環境への負担の軽減に努めていること。

環境マネジメント手順書における変更箇所の色分け、グループウェアを使用した共有データの管理など文書管理を明確にしている、システム全体の完成度が高いことが評価され、ISO14001認証登録から新規に「上級」を取得されました。

松島産業㈱第二工場は、発泡スチロール製品の製造・加工・販売を行う会社で、業務にかかる環境影響を認識し、環境管理の継続的改善を図り、環境汚染の防止に努めていること。発泡スチロールのリサイクル化を積極的に進められ、書類類・監視測定などの記録書類がきちんと整理され、環境回線活動へ活用されていることが評価され、初級を更新されました。

飯田クリーン(有)は、一般廃棄物や産業廃棄物の収集・運搬を行う会社で、自然環境を守っていくために企業では何が出来るかを考え、業務の中で取り組んでいること。②飯田下伊那地域では初となる、ハイブリッド塵芥車の購入も予定されていることなどが評価され、初級を更新されました。

なお、研究会では「南信州いいむす21」について、システムの問題点や運用について検討するプロジェクトチームを発足させ、検討を始める予定です。

「環境にやさしい賑わい のあるまちづくり」 シンポジウム開催のお知らせ

飯田市役所において、2003年の「ISO14001 自己適合宣言」、2009年の環境モデル都市認定」を記念して、この時期恒例のイベントが2月29日(水)に開催されます。

今回は、「環境にやさしい賑わいのあるまちづくり」をテーマに、国内外における先進事例を通じて、賑わいのある魅力的なまちづくりと交通政策について考える機会とします。

講師に、京都大学大学院工学研究科教授の中川大氏、ビジネスコンサルタント(日仏異文化経営マネジメント)で沖縄県在住のヴァンソン藤井由美氏を招いて行われます。パネルディスカッションは、飯田市長も参加しますので、白熱した議論をご期待ください。



中川 大 氏



ヴァンソン藤井由美 氏

- 1 日時 2月29日(水)
17時30分~19時
- 2 場所 飯田市役所本庁3階
301~303号会議室
- 3 費用 無料(申込不要)

皆様、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。詳細については以下のURLをご覧ください。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/www/info/detail.jsp?id=8257>

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
 地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
 沢柳 俊之 (多摩川精機)
 桜井 増田(飯田市役所)
 ic2568@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>



2012.6.7

「南信州いいむす21」登録証交付式行われる

去る5月24日に、「南信州いいむす21」の更新の登録証交付式が行われました。

今回は、GARDEN⁴S(ガーデンズ)、㈱日本テクノス製造事業部、飯田建設㈱の3社が継続更新されました。



GARDEN⁴Sは、飯田駅前中央通り3・4丁目の連合商栄会で、人との「ふれあい」や「つながり」を創り、持続的な商店街を目指すため、エコ事業を中心とした活動を展開。参加会員68店舗による回収・リサイクル活動が確実に実施されており、また、自転車発電・風力発電・イルミネーションのLED化や、新たな取り組みも検討されている点などが評価され、初級を継続更新されました。

㈱日本テクノス製造事業部は、モーターやコイル巻き線などの組立を行う会社で、積極的な環境改善活動を展開し、エネルギー資源の節約に努められています。電気使用量削減を目標に、人員の採用や教育・技能の重要性を認識し取り組まれている点が評価されて、初級を継続更新されました。

飯田建設㈱は、総合建設業を営む中で、環境事業にも取り組まれており、資源循環型社会を目指し、エコにつながる商品やサービスを提供されています。森林整備、リフォーム・営繕、バイオマス関連など、本業で環境に力を入れている点が評価され、初級を継続更新されました。

「環境の日」を記念した一斉行動週間 実施中

6月4日(月)から、環境の日を記念した一斉行動週間が始まりました。

実施期間は、6月4日(月)～6月10日(日)の7日間です。

県下一斉ノーマイカー通勤ウィークの実施に合わせて実施するもので、内容としては以下のことを実践します。

①ノーマイカー

徒歩、自転車、相乗り、公共交通機関の利用、環境負荷のより低い乗り物への乗り換え

エコドライブ

荷物の積み下ろし時や、信号待ち等の停車時のアイドリングを控え、自動車使用前の暖気運転をしない。急発進・急ブレーキ・急加速をしない運転を実践する。

ライトダウン

夜10時までに部屋の電気の消灯やテレビ等の電源を切る

グリーンコンシューマー活動

買い物の際に環境に配慮した行動を行う。レジ袋有料店以外(コンビニ等)でのレジ袋の辞退、地元産の食材の選択、簡易包装の食材の選択、エコマーク等のついた環境に配慮した商品の購入が該当。家族の取り組みも対象とします。

近場の温泉等公共浴場の利用

自宅で、電気、ガス、灯油を利用して湯を沸かす風呂は利用しない。(※ただし、遠方の公共浴場に自動車等で行く場合などは、ガソリン等の消費を伴うため、必ずしもエコにならない場合があります。)



飯田下伊那の事業所で参加を希望される場合は、今からでも結構です。是非、ご参加ください。詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

「飯田市役所環境ISOトップインタビュー」開催のお知らせ

明日、6月8日(金)午後6時より、飯田市役所本庁3階にて、毎年恒例のトップインタビューを開催します。

7～8月に実施する飯田市役所環境マネジメントシステム内部監査に先立ち、実施するもので、今回は、南信州・飯田産業センター内にある飯田ビジネスネットワーク支援センターのオーガナイザー、木下幸治氏をインタビューに、また、㈱アイパックス羽場健治社長をゲストにお迎えし、牧野市長との鼎談によりトップインタビューを行います。



環境マネジメントシステムの取り組み、地域ぐるみ環境ISO研究会の活動、省エネの取り組みなど環境に

対する市長の考え方や思い、課題を明確にし、これからの環境政策や環境マネジメントシステムに展開します。

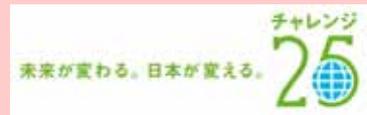
今年は、既に市の職員だけでも150人を超える参加申込みがあります。

相互内部監査へ参加を希望する方、飯田市役所環境マネジメントシステムに関心をお持ちの方、自社の取り組みの参考にされたい方など、どなたでも無料で参加できます。

【ご意見・お問い合わせ・配信解除】
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
桜井、増田 (飯田市役所)
ic2568@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信



<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

2012.7.3

トップインタビューを 開催しました

去る6月8日(金)に、飯田市役所にて公開トップインタビューを開催し、約150人が参加しました。

これは、7～8月に実施する飯田市役所環境マネジメントシステム内部監査に先立って行うもので、今回は、南信州・飯田産業センター内にある飯田ビジネスネットワーク支援センターのオーガナイザー、木下幸治氏をインタビュアーに、また、(株)アイパックス羽場健治社長をゲストにお迎えし、牧野市長と鼎談を行いました。



(株)アイパックス羽場社長からは、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の CO2 削減取組のための「いいこすいいだプロジェクト」モデル事業所として、エアコンプレッサーのエア漏れチェック・漏れ改善等による電気使用量の削減の取組の紹介や、6月からサマータイム制を導入して、始業時間を30分早めたことで、出荷までのロスタイムを削減できたり、従業員の出勤時の時間短縮・ガソリン消費量削減にも繋がっていることなどお話しいただきました。また、生産効率を改善することが環境に配慮した経営に繋がることも指摘されました。

木下オーガナイザーからは、飯田市の環境マネジメントシステムについて言及し、市の施策が市民に及ぼす影響にも考慮すべき。また、市の施策において成果の見える化ができておらず、目標値と手段が混同してしまっていると指摘がありました。

市長からは、すべての政策に環境を据えて取り組むことが重要とな

る。環境が入口でも出口はビジネスモデルや産業振興、安全安心のまちづくりにつながっていく。また、環境方針のとおりすべての事業において PDCA サイクルにより改善しながら良質なサービスを提供していきたいと発言がありました。

「南信州いいむす21」 登録証交付式行われる

6月20日、「南信州いいむす21」の更新の登録証交付式が行われました。今回は、中級の更新で飯田工業(株)(飯田市羽場坂町)と、いずれも初級の更新で、(株)五十川商店(飯田市上郷黒田)、カメヤマ(飯田市鼎中平)の3社が継続更新されました。



飯田工業は、上下水道などの設備工事を行っており、環境に配慮したエコ商品の推進のため、設計・販売・施工において具体的に数値目標を掲げて取り組んでいる点が評価されました。五十川商店は、一般・産業廃棄物収集運搬を行うなかで、環境方針・取組目標をすべての収集運搬車に備え付けて取り組んでいる点が評価されました。カメヤマも一般・産業廃棄物の収集運搬を行う中で、地域の保育園で園児に塵芥車の見学会や園児の絵を塵芥車に張ったりするなどの取組みが評価されました。

飯田市役所内部監査員研修 を行いました

6月21、22日、講師に(株)日本環境マネジメント研究所 主席コンサルタントの中村孝一氏を、昨年に引き続きお招きして内部監査員研修を行いました。参加された地域ぐるみ環境 ISO 研究会の事業所の参加者から、ある程度知識のある人にとっても参考になると感想

を頂きました。

飯田市役所相互内部監査 参加者を募集します

7月18日(水)から、今年度の飯田市役所環境マネジメントシステムの相互内部監査が始まります。

2003年に自己適合宣言をして以来9年目の相互内部監査です。飯田市の環境マネジメントシステムは、これまで、多くの皆様に支えられて作り上げられてきました。指摘や助言等、さまざまな形で支えていただき見守ってくださった皆様に、この場をお借りして心より感謝申し上げますとともに、今年度も引き続き、ご指導をお願いいたします。飯田市役所の内部監査への積極的なご参加を、心よりお待ち申し上げます。

相互内部監査の申込方法

参加条件は以下のとおりです。監査に参加いただくためには、環境マネジメント審査員の有資格者 内部監査員養成コースの修了者 内部監査員として2年以上の経験者のいずれかの条件を満たしていることが条件となります。これらの条件に該当していなくても、「オブザーバー」としての参加が可能です。

ご参加いただける方は、下記～の内容を記し、メールにてお申し込みください。

名前 勤務先など お電話番号 資格・経験 監査を希望する課等 (複数可) 「監査員」、「オブザーバー」の別

sakugen_co2@city.iida.nagano.jp

* 監査の日程及び重点監査事項等は下記のHPで公開しています。

なお、日程が変更になる場合がありますので、念のため直前にHPをご確認のうえお越しく下さい。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/manage/index.html>

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
桜井 増田 (飯田市役所)
ic1482@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信



<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

2012.9.5

事業所見学会&実務者会 開催される

地域ぐるみ環境 ISO 研究会メンバーによる事業所見学会と実務者会が7月24日に開催されました。

事業所見学会では、吉川建設(株)の担当者のご案内で、阿智村伍和地籍に架橋する建設工事現場を見学しました。移動作業車により地上に支保工を設けず、橋脚から左右を同時に1ブロック毎に張り出していく「片持張出架設工法」により施工していること等の説明を受けました。



その後、南信州広域連合で運営する一般廃棄物の焼却場「桐林クリーンセンター」及び昨年、同敷地内に開設された「桐林リサイクルセンター」において、業務内容の説明及び施設内見学を行いました。桐林リサイクルセンターは、燃やすごみの減量のために、不要となったが「まだ使える物」について、再使用を促進するための施設で、家庭等で不要となった燃やすことができる物について、有料又は無料で引き取りを行うと同時に、展示されている物は無料で持ち帰ることができます。また、「利用者は、南信州広域連合管内に在住の個人の方に限りませんが、積極的なご利用をお願いします」と担当者から説明がありました。施設の詳細は次のアドレスをご覧ください。

<http://www.kiri-rc.com/>

施設見学の後、実務者会を開催し、8月から実施する「事業所における省エネ一斉行動週間」の内容確認、市役所内部監査への参加依頼、市役所 ISO 内部監査を行う「市民監査員」の委嘱状の交付を行いました。

飯田市役所 E M S 相互内部監査が行われる ご協力ありがとうございました

7月19日から8月23日まで飯田市役所環境マネジメントシステムの相互内部監査が行われました。

初日の商業・市街地活性化課を皮切りに最終日の環境管理責任者・事務局まで、合計73の被監査部課、延べ74名の相互内部監査員及びオブザーバーの皆様のご協力をいただきました。昨年度から地域ぐるみ環境 ISO 研究会の実務者の皆さんを「市民監査員」として委嘱し、市役所の ISO 内部監査に参加していただいておりますが、今年度は研究会加入事業所のご協力の下、さらに市民監査員を増員するとともに、「南信州いいむす21」取得事業所(南信州宣言・上級・中級)にも個別に協力をお願いした結果、昨年を上回る参加者となりました。



2003年に運用を開始した飯田市役所 ISO 自己適合宣言は、内部監査を充実させることで、規格の適合性や客観性を担保しています。今年度も市役所内部監査員を始め、市民監査員や外部の監査員の皆様から様々な指摘をいただきましたので、今後PDCAサイクルにより改善を進めていきます。

今年度参加していただきました皆様には、心より感謝申し上げます。また、残念ながらお越しいただけなかった皆様には、是非来年度は、飯田市役所相互内部監査に参加いただきますようお願いしております。

南信州ソーシャルキャピタル・ フィールドスタディ開催される

8月27日から30日まで、飯田を題材に複数の大学間で共通のカリキュラムを構築することを目的とした「南信州ソーシャルキャピタル・フィールドスタディ」が開催されました。「ソーシャルキャピタル」とは、社会や地域における人々の信頼関係や結びつきを表し、この地域には豊かなソーシャルキャピタルが蓄積し、それがまちづくりや環境運動に現れていると言われております。これ



らの事例紹介の一つとして、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の活動について、研究会実務者が参加し、学生達とワークショップ、意見交換等を行いました。飯田を起点にした複数大学による新たな連携モデル構築への第一歩として、初めて取り組まれました。

事業所における 省エネ一斉行動週間実施中

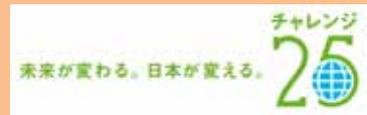
8月9日～9月8日までの間に、事業所が独自で決めた1週間、省エネ・節電に取り組むことで経費削減にも繋がる良い機会と捉え、昨年に引き続き「事業所における省エネ一斉行動週間」を実施しています。まだ取り組みを行っていない事業所は、今からでも省エネ行動の実施をお願いいたします。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
桜井、増田 (飯田市役所)
ic1482@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasypher/kankyo/iso/index.html>



2012.12.17

いいこすいいだプロジェクト<報告>

地域ぐるみ環境 ISO 研究会に所属の 8 事業所のメンバーにより、CO2 削減を目的に 2010 年 9 月より取り組んできた「いいこすいいだプロジェクト」(責任者: 仲田克史 オムロン飯田(株)常務取締役)が、11 月 13 日、モデル事業所として省エネ活動に取り組んできた飯田市山本の(株)アイパックス(羽場健治代表取締役社長)を訪問し、これまでの取り組みの成果を報告しました。取り組みの結果、電気使用量を 2010 年度比で 5%削減するという目標に対し、それを上回る 6.8%の削減効果がありました。

本プロジェクトは、(株)アイパックス、オムロン飯田(株)の他、多摩川精機(株)、シチズン平和時計(株)、三菱電機(株)中津川製作所飯田工場、旭松食品(株)、おひさま進歩エネルギー(株)、飯田市役所が参加。長野県環境保全協会の省エネアドバイザー北勉氏をお招きし、毎月定期的に会合や現場調査などを重ねて目標を達成することができました。



主な取り組み事項として、エアコンプレッサーのエア漏れ対策、夜間の待機電力削減、昼休み等の待機消費電力削減等を実施しました。羽場社長から、「年間 10~20 万円の無駄があることが分かった。ぜひ取り組みを継続させてもらおう」との発言がありました。

また同プロジェクトでは、省エネ改善事例集(ぐるみ通信タイトル下にある URL のページ参照)を作成しました。今後、作成した事例集を参考に、地域の事業所の省エネ対策に活用・支援を展開していきます。

研究会実務者会を開催しました

11 月 30 日に、地域ぐるみ環境 ISO 研究会実務者会を開催しました。今回は、主に 5 つの内容について討議しました。



(1) いいこすいいだプロジェクトによる省エネ対策支援にあたって

研究会に参加する各事業所に対し、省エネ対策の実施状況や、いいこすいいだPJによる支援を受けたいか等に関しアンケートを実施することについて了承を得ました。

(2) 「南信州いいむす 21」のチェックリストの改善について

「南信州いいむす 21」のチェックリストについて、実際の審査時に使用しにくいという声が多かったことから、「南信州いいむす 21」改善のためのプロジェクト(多摩川精機(株)、南信共同アスコン(株)、TDK 庄内(株)飯田工場、夏目光学(株)、南信州広域連合事務局、飯田市役所)により作成した改善案を示し、実務者の皆さんの意見を聞きました。

(3) 地域ぐるみ環境 ISO 研究会の今後のあり方に関連して

9 月の代表者会で示されたエネルギーの地産地消を目指した「創エネ」、「畜エネ」を、会として今後新たに取り組んでいくことについての確認と、県環境エネルギー戦略(案)等について確認しました。

(4) 8 月に実施の節電に関する「省エネ一斉行動」の結果について

48 事業所、2,532 人が取り組んだことを報告しました。

(5) 不要カレンダー・手帳の募集

長野県環境保全協会飯田支部が毎年、12 月下旬に八十二銀行飯田支店、飯田信用金庫本店で開催しているカレンダー・手帳プレゼント会への協力を呼びかけました。

「南信州いいむす 21」登録証交付式行われる

12 月 3 日に、「南信州いいむす 21」登録証交付式が行われ、計 4 事業所に南信州広域連合長より登録証が交付されました。今回は、上級で(有)松井製作所(飯田市山本) いずれも初級で一般社団法人南信州ここだに(飯田市主税町)と(株)木下商事(飯田市鼎下山)の計 3 事業所が新規登録を受けました。



(有)松井製作所は、自動車部品の製造を行う会社でエコアクション 21 からの移行で、日常業務を通じて環境改善活動を着実に実施している点が評価されました。

一般社団法人南信州ここだには、南信州の自然や文化とともに多様な人材を活用し、共生できる地域社会実現のため、都市と農村との交流や、地域人材の育成・雇用・就労の促進、地元産品の企画・販売などを展開する中で、地球温暖化の抑制に取り組み、南信州いいむす 21 の運用の仕組みが整備されている点が評価されました。

(株)木下商事は、柿むき機の販売・改造・メンテナンスや、太陽光発電システムの販売を行う会社で、柿むき機など、今あるものを活かすことを基本理念に、農家にとってエコでコスト削減につながる事業を展開している点が評価されました。

また、初級を更新した(株)丸中中根園は、緑茶の製造・販売を行う会社で、お茶の育成から販売まで一貫した業務を行っており、殊にお茶の育成段階における取り組みは、茶畑の保全、さらには国土保全にも寄与している点が評価されました。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
 地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
 沢柳 俊之(多摩川精機)
 桜井 増田(飯田市役所)
 ic1482@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>



2013.2.13

今後の研究会の方向性について 創エネ・蓄エネ・省エネ

地域ぐるみ環境 ISO 研究会では、昨年9月の代表者全体会において、萩本代表より、これからの研究会の方向性について、提案がありました。



「当研究会では、十数年、CO2削減を論議してきたが、2011.3.11以後、急場しのぎとはいえ、火力発電をこれまで以上に稼働させて電力供給を行なっている。私たちの環境を守ることでスタートしたこの研究会の取組みについて、改めて、原点に戻ってもう一度見直すことが必要ではないか。これまでの研究会の活動は、省エネの取組みであったが、今後は、省エネの取組みは継続しながらも、新たな研究会の役割として、地域に豊富に存在する再生可能エネルギー（太陽光、小水力、木質バイオマスエネルギー）により、『創エネ』『蓄エネ』について、思想としての牽引役を果たすことができないか。エネルギーを大事に使い、新しい生活パターンを研究会としてアイデアを作り上げていってはどうかと考えている。『創エネ』『蓄エネ』で、地域の必要なエネルギーは地域で作出し、電力を使う生活から変えていく必要がある。今までの取組みは今後も守っていきながら、会として新たに、エネルギーの地産地消につながる『創エネ』『蓄エネ』について取り組んでいきたい。」との発言がありました。

今年は、「省エネ」等についての取組みは引き続き展開していくとともに、「創エネ」「蓄エネ」についても会として取り組んでいくこととなりました。

「南信州いいむす21」 登録証交付式行われる



去る1月22日に、「南信州いいむす21」登録証交付式が行われ、計6事業所に南信州広域連合長より登録証が交付されました。中級で2社、(有)野中製作所(飯田市桐林)と(株)ヨシカズ(飯田市駄科)、初級で4社、(株)タニガワ(飯田市中村)、(株)林精機(飯田市北方)、田中精機(株)(飯田市松尾明)、アイビーテクノクリエーション(株)(飯田市松尾城)が更新登録を受けました。

事業所を代表し、野中製作所の小倉覚代表取締役が、「我々企業にとって環境改善は避けて通ることのできない課題。小さい活動の積み重ねが大事だと認識している。今後のステップアップに努めたい。」と決意を述べられました。

「2013年2月冬の一斉行動」 を実施します

2月16日(土)～22日(金)までの1週間、飯田下伊那地区の事業所に呼びかけて、一斉行動を実施します。

今回は、主に家庭におけるCO2削減を目的とした一斉行動を行います。実施内容は以下のとおりです。

- ① ノーマイカー
- ② 車のタイヤの空気圧をチェックし、適正にする。
- ③ 主電源をこまめに切ったり、コンセントを抜くなどして待機電力を節約。
- ④ ライトダウン
- ⑤ 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない。
- ⑥ 入浴は間隔を空けずに入る。

※取り組みカレンダーは、本通信タイトル下にある URL のページに掲載しております。飯田下伊那地域以外の皆様も是非実施してください。

「地方分権型の地域政策によるまちづくり」 シンポジウム開催のお知らせ

飯田市役所では、2003年の「ISO14001 自己適合宣言」、2009年の「環境モデル都市認定」を記念して、毎年恒例のシンポジウムが2月22日(金)に開催されます。

今回は、「地方分権型の地域政策によるまちづくり」をテーマに、飯田市が「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」の施行を目指す中で、地域が主体となって取り組む事業を支援する政策的な仕組みについて考えるシンポジウムです。

講師に、京都大学大学院経済学研究科教授の諸富徹氏、NPO 法人再エネ事業を支援する法律実務の会 代表理事/弁護士の水上貴央氏、長野県環境部温暖化対策課長の中島恵理氏をお招きします。

基調講演では、諸富教授による「地方分権型のエネルギー政策と住民参画の意義」について、パネルディスカッションでは、「地方分権型エネルギー政策からの持続可能な地域づくり」と題して上記の3名と飯田市長も参加して行われます。ご期待ください。

- 1 日時 2月22日(金)
17時30分～19時
- 2 場所 飯田市役所本庁3階
301～303号会議室
- 3 費用 無料(申込不要)

皆様、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。詳細については以下の URL をご覧ください。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
 地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
 沢柳 俊之(多摩川精機)
 桜井、増田(飯田市役所)
 ic2568@city.iida.nagano.jp

ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasypher/kankyo/iso/index.html>



2013.6.14

ISO をどう活かすか？ 飯田市役所トップインタビュー開催

去る5月27日(月)17:30より、飯田市役所にて毎年公開にて行っている「飯田市役所環境 ISO14001 自己適合宣言トップインタビュー」が開催され、研究会事業所の皆様なども参加し、市民の皆さんも含め100名余の皆さんが熱心に聴講しました。

インタビューに、日本政策投資銀行環境・CSR 部長 竹ヶ原啓介氏、ゲストに、(株)八十二銀行調査役坂本智徳氏、大阪市立大学都市研究プラザ特任講師 堀口朋亨氏をお招きして、牧野飯田市長を交えてのトップインタビューが行われました。



その中で、「最近の傾向として、ISO 認証取得が頭打ちとなっており、返上する企業も出てきている。こうした状況は、環境側面を狭くとらえていることが原因。紙、ゴミ、電気を減らすことよりも、労働生産性を上げていくほうが環境負荷は低い。労働生産性を上げようとすれば PDCA に終わりはしない。ISO の取り組みは労働生産性の改善にもつながっていく。」との話がありました。

また、「持続可能な地域づくりの推進のために、ISO の仕組みをどう使っていくか。そのためにはいかに環境側面を広くとらえていくかが重要。行政が、地域住民を巻き込んで地域住民を主体として動かしていくようなスキームづくりも著しい環境側面ととらえることができる。行政が関わるありとあらゆる仕事が『持続可能な地域づくり』に関係している。」といった内容が話し合われました。

南信州いいむす21 審査項目が変わります

2001年10月から運用している「南信州いいむす21」も、10年以上が経過し、時代の変化とともに、改善が必要な点等が出てきました。そこで、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の6事業所と南信州広域連合事務局の10名により、昨年2月から、「南信州いいむす21プロジェクト」を立ち上げ、ほぼ毎月、メンバーによる会合を持ちながら、マニュアル作りや、仕組み改善に取り組んでまいりました。

そして、このたび「初級」から「上級」までのマニュアルを新たに作成しました。また、「初級」から「上級」までのそれぞれの取り組み項目(審査事項)を見直し、これまで各級において審査項目でなかった事項も取り組むべき項目として追加するなどしました。

具体的には、「法的及びその他の要求事項の特定」や、「緊急事態への対応」などを「初級」から新たな審査・実施項目として追加しました。事業所であれば、当然取り組まないといけない内容を確認できるようにしています。

新しいマニュアルや審査チェックリストにつきましては、以下の URL にあります地域ぐるみ環境 ISO 研究会のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasypher/kankyo/iso/ems21.html>

登録事業所を対象に以下の日程で説明会を開催します。

- ①第1回目
日時：6月26日(水)10:00～
場所：多摩川精機(株)第3事業所(下伊那郡松川町元大島)
- ②第2回目
日時：7月2日(火)13:30～
場所：飯田市環境技術開発センター交流室(飯田市桐林)
- ③第3回目
日時：7月4日(木)18:00～
場所：飯田市役所本庁3階会議室

「南信州いいむす21」 登録証交付式行われる

去る5月21日に、「南信州いいむす21」登録証交付式が行われ、2事業所(初級更新)に南信州広域連合長より登録証が交付されました。

(株)協電社は、特殊モーターの製造や、精密プラスチック成型品の設計・生産などを行う会社で、地球環境への負荷の軽減と調和を目指し、環境改善活動に取り組んでいることや、デマンド監視装置導入、室内温度管理の徹底など、電気使用量の削減に向けた取り組みが特に評価されました。

また、(有)大蔵製作所は、金属機械への表面処理や焼付塗装を行っている会社で、全社員の環境意識の高揚を図りながら、地域社会と協調した環境活動に努められていること、「化学物質レス塗装」の積極的な推進や、河川清掃、エコドライブ講習会などの社外活動にも力を入れている点が評価されました。



牧野広域連合長からは、「是非、中級以上へのチャレンジを」と発言がありました。

<ISO 研究会事務局員の交代>

これまでぐるみ通信をお送りしておりました桜井が、市役所の内部異動で異動となりました。皆様には大変お世話になりました。4月より、村下が事務局の担当となります。今後とも宜しくお願いいたします。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之(多摩川精機)
村下、増田(飯田市役所)
ic1870@city.iida.nagano.jp



今回は文字ばかりになってしまった

ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>



2013.7.16

飯田市役所内部監査員研修を行いました

6月20、21日、講師に昨年に引き続き、(株)総合マネジメント研究所の中村孝一氏をお招きして市役所職員を対象とした内部監査員研修が行われました。今回は、内部監査員研修という名目ではありましたが、実質は、実際の各部署における業務において、環境側面をどう捉えていくとよいかについて、研修が実施されました。

市役所の業務は、住民票などの証明類の発行から、下水処理、福祉、産業振興、環境分野の業務など、多岐に渡ります。その中で、各々の部署において、どのようなことを環境側面として特定するか、また、側面として拾い上げる方法について研修を受けました。

もともと、ISO という「環境」の概念には、「人」も含まれることは、周知のとおりですが、研修においてそれを改めて認識しました。また、グループ作業を行い、代表的な業務を題材にして、特定の事業・業務をプロセスに分解してインプット、アウトプットを考え、どのような環境影響や、著しい環境側面、緊急事態等があるのかを考える作業を行いました。

また、是正事項の書き方についても研修し、不適合指摘の書き方、修正と是正の違いなどを再認識しました。

「南信州いいむす21」説明会実施しました

南信州いいむす21の初～上級の審査項目(取組み内容)の改定に伴い、説明会を開催しました。3回開催し、現在の登録事業者、これから新規に登録を受ける事業者や地域ぐるみ環境ISO研究会の実務者、計73名が参加しました。6月26日は、下伊那郡松川町の多摩川精機(株)第3事業所、7月2日午前、桐林の飯田市環境技術開発センター、そして7月4日夜は飯田市役所にて開催し、それぞれ、違う説明者が参加者に説明を行いました。

今回の主な改正で、前号に掲載した

「法的及びその他の要求事項」の特定、「緊急事態への対応」が新たな取組みとなる他、環境方針に「汚染の予防」を表明することや、「汚染の可能性のあるもの」の特定を求めるなど、これまで初級、中級において審査項目でなかったものが新たに加わりました。改正前後の審査項目数は、初級は21項目から34項目に、中級は34項目から57項目に、上級は、78項目から80項目にそれぞれ増えました。

今後、今年の暮れあたりを目標に順次、新しい審査項目で、登録・更新審査を行っていく予定です。

南信州いいむす21も、運営する中で、様々な問題点が出てきています。今回の改訂ですべての問題が解決しているわけではありませんが、今後も、さらにより良い仕組みとなるよう、そして取り組む価値があるものとなるよう仕組みの改善に努めてまいります。

なお、ISO14001 レベルと同レベルの「南信州宣言」については、基本的にはISO14001 規格に基づいた審査内容のため、今回改訂はありませんでしたが、今後、マニュアル化を含め、どのようにするか検討していく予定です。

再生可能エネルギー連続講座のご案内

今年は、地域ぐるみ環境ISO研究会においても「創エネ」、「蓄エネ」をテーマに検討しようとしています。「創エネ」に関する講座が開催されますのでご紹介します。

日本における再生可能エネルギー分野のエキスパートをお招きして(公財)南信州・飯田産業センターにて開催されます(有料)。是非ご参加ください。

- 第1回：太陽熱利用の新たなステージ
7月16日(火)13:30～
- 第2回：市民の力で推進しよう太陽光発電、その将来は？
7月31日(水)13:30～
- 第3回：内陸部でも発電可能な小型風力発電
8月6日(火)13:30～
- 第4回：マイカ水力発電の技術的課題
8月26日(月)13:30～

詳細につきましては、以下の南信州・飯田産業センターのウェブサイトをご覧ください。

<http://college.isilip.org/?cid=35995>

お申込みお問合わせは、南信州・飯田産業センター 再エネセミナー係まで。

飯田市役所相互内部監査参加者を募集します

7月18日(水)から、今年度の飯田市役所環境マネジメントシステムの相互内部監査が始まります。

飯田市の環境マネジメントシステムは、これまで、多くの皆様に支えられて作り上げられてきました。指摘や助言等、さまざまな形で支えていただき見守ってくださった皆様に、この場をお借りして心より感謝申し上げますとともに、今年度も引き続き、ご指導をお願いいたします。飯田市役所の内部監査への積極的なご参加を、心よりお待ちしております。

相互内部監査の申込方法

参加条件は以下のとおりです。監査に参加いただくためには、①環境マネジメント審査員の有資格者②内部監査員養成コースの修了者③内部監査員として2年以上の経験者のいずれかの条件を満たしていることが条件となります。これらの条件に該当していても、「オブザーバー」としての参加が可能です。ご参加いただける方は、下記①～⑥の内容を記し、メールにてお申し込みください。

名前②勤務先③電話番号④資格・経験⑤監査を希望する課等(複数可)⑥「監査員」、「オブザーバー」の別
sakugen_co2@city.iida.nagano.jp
*監査の日程及び重点監査事項等は下記のHPで公開しています。なお、日程が変更になる場合がありますので、念のため直前にHPをご確認のうえお越しくください。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/manage/index.html>

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之(多摩川精機)
村下、増田(飯田市役所)
ic1870@city.iida.nagano.jp

ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/isokenkyuukai.html>



2013.10.21

飯田市役所の ISO14001 相互内部監査終了

7月18日から約1ヶ月にわたり行われた、飯田市役所環境マネジメントシステムの相互内部監査が8月22日の環境管理責任者の監査をもって終了しました。今年も、研究会参加事業所の皆様にはご多忙のところ、市役所の監査にご協力いただき、誠にありがとうございました。また、遠くからお越しいただき一緒に監査をいただいた皆様、ありがとうございました。



環境管理責任者監査

今年の監査では、トップインタビューからその年の内部監査の重点監査項目を導き出していると、内容によっては作成済みの帳票の修正や変更が生じ、効率的ではないため、重点監査項目を3月に行っている市長へのマネジメントレビューの中で決定し、年度当初には示すよう指摘がありました。

飯田市役所は、この地域の環境施策を推進していく事業所として、これからも積極的な環境改善活動への取り組みに期待をしたいと思います。

夏の一齐行動週間の結果をご報告します

8月1日から7日まで、夏の一齐行動週間を実施しました。実施にご協力くださいまして大変ありがとうございました。今回は、7項目、①ノーマイカー、②エアコン設定温度を1度上げて扇風機併用、③入浴の間隔を空けないまたは、シャワー使用、④自動車の不要な荷降ろし、⑤冷蔵庫の設定温度を「中」以下、⑥冷蔵庫内の整理整頓、⑦パソコン・テレビの画面の輝度最適化について実施し、計58事業所、7,140名が取り組みました。①ノーマイカー

実施回数は、延べ6,844回、②エアコンは延べ23,267回、③入浴は延べ23,667回、④自動車は、6,240台、パソコン・テレビは、4,953台、CO2削減量は、あくまでも参考ですが1週間で19.9tという結果でした。一人ひとりの取り組みは小さくても、皆さんが取り組むことで大きなCO2削減効果があります。今後ともご協力をお願いいたします。

皆様から寄せられた様々な特徴ある取組内容につきましては、上記タイトル下にありますURLの研究会ウェブサイトに掲載しておりますのでご確認ください。

「秋の一齐行動週間」も、10月7日～10月14日まで実施しました。

今回は自動車関係に絞り、ノーマイカー、エコドライブ、車のタイヤ空気圧の3点について実施しました。

事業所様におかれましては、夏に引き続きですみませんが、取りまとめ、ご報告を10月30日(水)までによりしくお願いいたします。

まだ未実施の事業所様も、今から実施していただいても結構ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

地域ぐるみ環境 ISO 研究会 代表者全体会を開催しました

9月25日、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の事業所代表者全体会が、参加事業所の代表者と実務者35名が出席して開催されました。

はじめに多摩川精機社長の萩本代表から、16年前に6事業所でISO14001の取得を目的に誕生した研究会の経緯説明の後、原発停止に伴う化石燃料の消費増大、電気料金の値上がりなどに対するエネルギー問題や近年の不安定な自然環境の問題など、この地域においても安全と安心をどのように確保していくかが課題となっているとのあいさつがありました。

協議においては、温室効果ガス削減プロジェクト(いいこすいいだPJ)が本年5月から行ってきた研究会参加事業所への省エネ診断の試行実績を踏まえ、今後、他の研究会参加事業所を対象に

省エネ診断を順次行っていくことが確認されました。

また、今年度から「南信州いいむす21」の取組み項目の大幅改訂に伴い、登録事業所が取り組むにあたって、「環境側面」について理解を深める必要があるため、いいむす取組事業所と研究会参加事業所を対象とした研修会を実施することについて承認されました。

また、萩本代表から以下の4点について提案があり、内容や進め方について研究会として引き続き検討をしていくことを確認しました。

安全・安心な活力ある地域社会の実現を目指す姿とし、省エネ・創エネ・蓄エネの地産地消を産学官共同で進める。

- ②各事業所の保有技術を利用し、新たな知恵を発掘する。
- ③創エネ、蓄エネ、省エネ、電力活用法の4テーマで研究を開始する。
- ④すでに取り組みを始めている企業や団体との連携・支援をする。



参加者からは、「創エネ・蓄エネも大切だが、徹底した省エネの上に創エネ・蓄エネがある。建築関係の事業所も研究会に参加しており、いいこすいいだPJで建物の省エネに取り組んではどうか」との提案がありました。それに対し、「建物の省エネに関する情報や事例が多くあるので、この地域で建物の省エネの普及の仕掛けや仕組み、方法について建築関係の方を中心に研究・検討していただき、研究会はそのサポートができれば良いのではないか」との意見があり、研究会としては、建物の省エネに対してどのように関わられるのか、意見を聞きながら今後検討していくことになりました。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
村下、増田 (飯田市役所)
ic1870@city.iida.nagano.jp

ぐるみ通信

チャレンジ
25
未来が変わる。日本が変わる。<http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujuhou/isokenkyuukai.html>

2014. 5. 1

地域で取り組む「自然エネルギー」を活用したまちづくり シンポジウム開催

去る3月17日、ISO 14001 自己適合宣言(2003年1月23日)、環境モデル都市認定(2009年1月23日)を記念したシンポジウムが開催されました。今年「地域ぐるみで取り組む自然エネルギーを活用した街づくり～地域環境権にとづく事業の展開の可能性について」と題して議論が行われました。



まず、NPO 法人再エネ事業 (NPO 法人再エネ事業を支援する法律実務の会 代表理事/弁護士の水上貴央様より、ご講演をいただきました。その中で、「世の中のトレンドとして、固定価格買取制度の中、大企業が地方の土地を使って大規模な太陽光発電施設を設置し、地域にはあまり利益をもたらさないという状況が全国的に散見される。また、地方においては、コミュニティの中におけるエネルギーの地産地消の取り組みの動きと、再生可能エネルギーを作り出し、ビジネスとして大消費地等に電力を売る第1次産業化の動きがある。飯田市の再エネ条例は、「地域環境権」を規定しており、地域貢献再エネ事業を実施するにあたっては、市民は、受益者としてではなく権利行使の主体として取り組むこととなる。」と説明されました。

また、パネルディスカッションでは、飯田市エコライフコーディネーターの絹代さんをコーディネーターとして、多摩川精機株式会社代表取締役副会長萩本範文氏、水上貴央氏、牧野飯田市長がパネリストとして参加し、緊張感のある議論が繰り広げられました。萩本副会長からは、「この地域で、再生可能エネルギーがどんどん取り出せてハッピーになると思ったら大間違い、水力にしても、電力会社が100年かけて取り組んできた既知の技術。画期的な

技術革新がない限り難しい。経済的に本当に成り立つのか、技術的に本当に可能なのかしっかりと議論してから進めるべきである。また、創エネももちろん必要だが、持続可能な地域づくりのためには、まず市民のライフスタイルを変えいかなければならないことを同時に訴えかけていく必要がある。」との発言がありました。

牧野市長からは、「少子高齢化で保育園が存続の危機に直面している上村において、現在進められようとしている地域住民による地域公共再エネ活用事業が上村地域存続のため大変重要で、地域の住民が主体となって取り組もうとすることが地域の活性化につながるのであれば市としても支援していく。」と発言がありました。

水上氏からは、「飯田市の条例は、市民が主体となることで、市民ファンド型事業などと比べても、地域における経済循環がより大きくなり、実際に地域が使えるお金が増えるというメリットがある。また、発電をし始めると、人は省エネを意識し始める。その効果が大きいのでは。」と発言がありました。

最後に市長より、「地域課題解決のためには、既成概念では深層、複層的な課題は解決できない。地域住民・事業者・行政それぞれが、連携し合い、多種多様な発想や体系を地域の中でつくっていくことが重要。再エネで、地域課題解決のイノベーションを考えていこう」との発言がありました。

南信州いいむす21 更新情報



去る3月10日、南信州いいむす21登録証交付式が行われ、南信州広域連合長のより、多摩川テクノクリエーション、飯田環境センターに登録証が手渡されました。多摩川テクノクリエ

ションは、2次元、3次元CAD、CAE解析など、技術開発や設計支援を行っている会社で、着実な運用管理、監視・測定を実施されている点が評価され、中級を更新されました。飯田環境センターは、し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥の処理を行う南信州広域連合の施設で、条件をきちんと決めて、放流水質の維持や、悪臭発生抑制を行っている点が評価され、初級を更新されました。それぞれの事業所においてさらにレベルアップした取組みに期待をしたいと思います。

地球温暖化対策課から 「環境モデル都市推進課」に

飯田市の組織・名称が、一部機構改革によりこの4月から変わりました。

これまでの水道環境部地球温暖化対策課は、市民協働環境部の所属となり、課の名称も、「環境モデル都市推進課」に変更になりました。

課の係体制は、これまで通り、地球温暖化対策係、地域エネルギー計画係、ISO推進係の3係体制です。宇部市、



NPO 法人環境市民から派遣されていた職員はそれぞれお戻りになり、新たに長崎市役所からの派遣職員、10月からは、奈良県生駒市役所の職員(4~9月までおひさま進歩エネルギー(株)に勤務)をお迎えするなどして新たな体制で業務が始まっています。地域ぐるみ環境 ISO 研究会の事務局は、引き続き ISO 推進係が担当します。今後ともご指導をよろしく願いいたします。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
村下、増田 (飯田市役所)
ic1870@city.iida.nagano.jp